



日本離床学会 教育講座 シリーズ「循環」

苦手を克服！ 循環機能の評価と早期離床

(基礎・評価編)

日時:2021年
2月6日(土)
10:00~16:10

講座コードR-8

会場:インターネット生ライブ中継
見逃し受講期間
2月8日(月)~2月21日(日)
講師:徳田 雅直 先生 (新横浜ハートクリニック 心臓リハビリテーション室)
対象:看護師・PT・OT・ST ※先着順で定員になり次第締め切り
受講費:会員 8,800円 一般 9,800円 (税込) **新入会 会費無料**

難易度

★★★★☆



離床最大のリスクである「循環機能」。たとえ循環器疾患以外の患者さんであっても、その評価の重要性は計り知れません。しかし、専門用語が多いうえ、様々な要素が循環の安定を規定するという特性から、見るべきポイントがわからないという方も多いのではないのでしょうか。本講座では循環器の専門家でなくとも基礎から応用まで幅広く理解できるよう、早期離床の実現に必要な評価とリスク管理のポイントを学びます。さあ、あなたも臨床家の観点から考案された独自のプログラムで苦手を攻略してみませんか？

「知らなかった」ではもう遅い。臨床で必須の知識を集中講義

STEP 1 循環機能をトータルで捉えるための基礎的トレーニング

- ①そもそも循環機能とは何か？押さえるべき3つの基本要因について
- ②必ず尿量はチェックする 心機能と尿量の密接な関係
- ③これなら理解可能！イラストでイメージする血圧の規定因子～心拍出量・全末梢血管抵抗・前負荷・後負荷など～
- ④たかが血圧、されど血圧。「低い」の意味することは何か？
- ⑤起立性低血圧を科学する～循環血液量と血圧調整反射～
- ⑥離床可能な状態とは？ 正常機能をあらためて考える

STEP 2 何が原因？循環機能不安定の原因を探る

- ①調律不全からくる生体変化～不整脈がもたらす影響～
- ②心不全をおこしてしまった！その時働く生体の代償機構とは？
- ③重篤な状態とは？心原性ショックと低拍出血症候群の病態
- ④調律不全からくる生体変化 不整脈がもたらす影響
- ⑤この不整脈は離床を中止すべきか？臨床における判断のポイント
- ⑥フィジカルアセスメントとForrester分類を最大限に活用した状態判断の方法
- ⑦その原因のリスクはどの程度なのか？離床の可否を判断するポイント



「循環器って何だかわずかしいなあ～」一度は誰もがそう思うはず。そろそろ、苦手の分野に手をつけてみませんか？循環のおさえておくべきポイントから知って得する部分まで、イラストや動画を使ってわかりやすく解説します。しかも、明日からスグに使える内容が盛りだくさん！あなたにとって、きっと「身近な循環器」となるはずです。≪臨床でためになる≫ 熱くて楽しい講義！さあ、自分に自信をつける旅へ一緒に出発しましょう！！

STEP 3 くり返し法で循環の苦手用語を克服するシュミレーションスタディ

前負荷・左心不全・
EF・Forrester分類

こんな用語を円滑に説明
できるようトレーニングします

STEP 4 実際の症例から学ぶ循環評価と離床可否の判断

離床開始3日目のデータ

意識：清明
循環：HR：104回/分 BP：78/48mmHg 手足を触ると冷たい
呼吸：2 L N.C.にてO₂投与 SpO₂ 99%
歩行をしてもSpO₂低下はないが息切れを訴える
ADL：トイレまで何とか歩行自立

このとき歩行を
続行すべきですか？

データを見ながら臨床で困りがちな
シーンを再現し、迷いを払拭します

※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。



この心電図は正常ですか？

グローバル標準規格に準拠

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org